

## SPring-8 ユーザー協同体 2021 年度特別総会 議事録

日時：2022 年 3 月 14 日(月) 17 時 15 分～17 時 05 分

場所：WebTV 会議

出席者：約 140 名

### 議題

#### 1 会長挨拶

松下庶務幹事の司会進行の元、最初に木村会長から以下の挨拶があった。  
先ほどまでの BLs アップグレード検討ワークショップを聞いていて、ユーザーと施設者側との対話の機会がいかに大切であるかを改めて感じた。SPRUC はシンポジウムやワークショップ、研究会の活動を通して施設側との情報交流を図っており、これによりユーザーの皆様が最大の成果が得られるということが SPRUC の活動の指針である。その意味で本日の WS は有意義な情報を得られたのではないかと思う。このあとの特別総会では、これまでの評議員会で承認された事項の報告の他、私の任期がまもなく 2 年で満了することから、新会長の紹介も行う予定なのでよろしくお願ひしたい。

#### 2 施設報告

JASRI の山口常務理事から「SPring-8/SACLA の現状と成果の最大化に向けての取組」と題して施設報告が行われた。

2.1 1988 年以降、理研・原研 大型放射光施設研究開発共同チームの発足から現在まで供用開始から 25 年となる SPring-8 の歴史が紹介された。

2.2 文科省の特定先端大型研究施設という位置づけにある SPring-8/SACLA において、JASRI と理研の業務遂行体制・運営方針に関する説明があった。

2.3 SPring-8/SACLA の利用者選定、利用促進業務、利用料金等に関する説明があった。

2.4 SPring-8/SACLA の利用者数、利用課題数、論文数、利用料収入の推移に関する 2020 年度までの統計データが報告された。

2.5 SPring-8 の産業利用推進について、3 つの利用者層に対する対策、産学連携の推進策とこれまでの成果が示された。また 2022 年下期からは年 6 回利用受け付けビームラインの拡充など利用制度の変更が予定されていることの報告があった。

2.6 SPring-8 のアップグレード計画については、SPring-8-II を視野に入れたビームライン整備として、ビームライン改修を先行させて、しかるべき時期に加速器を入れ替える方針。

ESRF 等、世界の多くの放射光施設では大規模改修が完了したものや、着手中の状況であり SPring-8 の改修が遅れている状況にある。国の施策では仙台の次世代放射光施設の稼働が優先されるため、2024 年度以降速やかに進めて欲し

いと要望している。

2.7 今後の利用に関して、2022A 期から現「産業利用準備課題」の拡張版である「次期指定課題（時間単位利用）」が3月下旬に受付が開始されること。大学院生提案型課題（長期型）の2022B 期分の公募が3月下旬から開始されること。年6回募集を行う共用ビームラインが拡張された2022B 期募集は5月上旬から募集が開始されること。それに伴い産業利用ビームラインⅠⅡⅢの運用変更も同時に実施されることが報告された。

### 3 第11回評議員選挙結果について

筒井選挙管理委員長より、SPRUC 全会員による評議員選挙の実施報告があり、12月1日から22日の間でWeb、FAX、E-mailによる投票結果とそれにより選任された2022年度の評議員名簿が報告された。

### 4 行事幹事報告

4.1 西堀幹事よりSPring-8 シンポジウム2021が昨年9月17-18日に開催され、参加者は480人であったこと。オンライン開催としては2回目であるが、恒例のパネルディスカッションの他、今回はポスターセッションもREMOを使ったオンラインセッションを行い様々な議論が交わされた等の報告があり。詳細は利用者情報誌の記事を参照して欲しいとコメントがあった。

4.2 松村幹事より第5回SPring-8 秋の学校が昨年12月19日から22日4日間で開催されたこと。コロナ禍の影響で開催日が9月から変更になったが、59名の参加があり、SPRUCの各研究会からも講師を派遣いただき、基礎講義7、グループ講習18課題の充実したプログラムが組めたこと。秋の学校の特徴として、放射線業務従事者登録が不要であり、学生のほか社会人参加者も多いとの報告があった。

### 5 会計幹事報告

久保田会計幹事の代理として松下庶務幹事より以下2件の報告があった。

#### 5.1 SPring-8 シンポジウム2021 決算

SPring-8 シンポジウム2021の予算・実績（確定）版資料を基に、決算報告が行われた。

#### 5.2 2021年度 SPRUC 予算執行状況

2021年度 SPring-8 ユーザー協同体予算・執行状況（2022年3月7日現在）について提示資料を基にして説明が行われた。収入、支出の部についてそれぞれ説明があり、今年度の支出分については、JASRIからの活動支援金と秋の学校の参加費収入等で同額になり、繰り越金については、増減なく来期に繰り越される予定との説明があった。

### 6 利用委員会報告

田中利用委員長より研究会開催状況（3/14現在）について説明が行われた。

- 6.1 田中利用委員長より研究会開催状況（3/14 現在）について説明が行われた。
- 6.2 年前半の開催は少なかったが、年明け頃から開催頻度が多くなり、特にこの WS 以降 3 月末まで多くの研究会の開催が予定されている。
- 6.3 年前半の開催は少なかったが、年明け頃から開催頻度が多くなり、特にこの WS 以降 3 月末までで多くの研究会の開催が予定されている。
- 6.4 研究会全体では、共同開催の形式で開催された研究会もあるので、34 研究会の内、全体の 2/3 程度の研究会で開催していただいた。
- 6.5 現在、3/16 までの期限で第 6 期研究会の募集を行っている。期限までに提出していただきたい旨のお願いと研究会申請に際しての 4 つの提言と勧告の説明があった。

## 7 その他

- 7.1 木村会長より分野融合型研究について、以下のコメントがあった。

新分野創成（開拓）の課題が 2015 年から始まって、SPRUC で提案したナノデバイス科学グループと実用グループがそれぞれ研究グループを組織して 4 年間、課題を実施した。研究成果については利用者情報誌にも掲載されているが、前回の SPring-8 シンポジウム 2021 でも総括という観点で講演いただいた。JASRI の利用制度改正に伴い同課題は発展的に解消することとなり、SPRUC としては一旦ピリオドを打つこととした。
- 7.2 松下庶務幹事より今後の予定について説明があり、第 6 期研究会設置申請と利用動向調査報告書の締切日の他、次年度の予定等の報告があった。
- 7.3 最後に木村会長より次期会長として西堀英治氏が選任されたことの紹介があり、西堀次期会長より挨拶があった。

SPRUC が発足以来、長年関わって来たが、世の中が変わってきたのと同様に SPring-8 も常に変化に対応していかなければならないと感じている。ユーザー団体として SPring-8 のアップグレード等の変化に対応したいと思っているので皆様のご協力をお願いしたい。

以 上